

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

本年度は、新市「まちづくりの基本方針・3」に基づき、学校教育担当及び保健給食担当において、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施した。

学校教育においては、未来を担う栃木市の子どもとして「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を身に付けた子どもの育成を目指した。

そのために、教職員の指導力の向上を目的として、教育研究所と連携し、所長の宇都宮大学松本敏教授の指導・助言のもと、学校教育の課題解決の調査・研究や教職員研修の充実を図り、教育講演会や教育研究発表会を行った。

教育支援の充実としては、専門的な知識を持った学校教育支援専門員や臨床心理士、指導主事による学校訪問や保護者との相談、いじめ等の問題行動に対する対応、校内指導体制への助言等を行った。特に、学校内や家庭生活上の問題を抱える児童生徒に対して、関係機関をつなぎ、当該児童生徒を取り巻く環境へ働きかけて問題の解決を図るようスクールソーシャルワーカーを配置した。

また、これまでのいじめ対策の取り組みを踏まえた上で、いじめ防止対策の総合的な推進のため「栃木市いじめ防止基本方針」を策定した。

教育環境の整備としては、就学援助事務及び教科書無償給与事務、新学習指導要領対応の理数教育備品整備等を行った。

さらに、各学校の特別な支援を必要とする児童生徒への対応として、学習や生活指導の支援を行う学校支援員66人(特別支援教育支援員59人、学力向上支援員7人)、通級教室指導員4人、日本語指導員2人を配置した。

キャリア（進路）指導については、小学校の校外学習等や中学校の職場体験学習等を通して、勤労の大切さや尊さを学ぶ教育を展開し、児童生徒一人一人の将来の生き方を考える力の育成を図った。

学校保健については、心身共に健康な児童生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定会を開催し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

むし歯予防事業では、歯科検診及び「むし歯ゼロ学校巡回指導」を実施し、児童生徒に対して歯・口腔衛生の正しい知識と疾病予防の指導を行った。

そのほか、結核健康診断、就学時健康診断、教職員の生活習慣病健康診断等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水及びプールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、児童生徒が正しい食習慣を身に付け、自己の健康保持増進を図ることを目指した。

調理場施設においては、大平学校給食センターが老朽化に伴う改築工事を完了し、2学期から大平地域小中学校へ給食の提供を行うようになった。

食事内容については、学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの作成や献立の多様化や地産地消の拡大を図るなどして、安全で安心な、子どもたちに喜ばれる学校給食の提供に努めた。

また、食中毒を未然に防止するため、調理従事者を対象に衛生教育研修や全調理場巡回訪問を実施するとともに、施設設備の改善充実に努めるなどして、衛生管理の徹底を図った。

さらに、栄養教諭等による食に関する指導についても、文部科学省委託事業「栄養教諭を中核とした食育推進事業」を受けて研究を推進した。

学校教育担当

1 学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
42	46	102	39	45
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
7	-	1	2	30

(2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・各種選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務

(3) 教職員給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者で記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されていないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員の団体(栃木県教職員協議会)との研修事業、各種研修等に係る補助金及び委託料に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
平成25年5月1日	7,549	313	3,975	151
平成26年5月1日	8,208	344	4,404	162
比較	659	31	429	11

(6) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

	対象者（人）	支給額（円）
小学校	314	17,284,612
中学校	249	22,173,400
計	563	39,458,012

(7) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者（人）	支給額（円）
小学校	98	3,067,139
中学校	51	2,691,362
計	149	5,758,501

(8) 遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況
小学校 4km以上 中学校 6km以上

	対象者（人）	支給額（円）
皆川城東小	6	120,000
寺尾中	2	58,000
藤岡第一中	2	8,000
都賀中	5	20,000
西方中	11	69,000
岩舟中	6	24,000
計	32	299,000

(9) 学校教育設備整備費等（理科教育等設備整備費）補助事業

学校教育設備整備費等補助金により、小学校30校、中学校13校の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	2,131,197
中学校	1,114,187
計	3,245,384

(10) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて、学校教育活動を行う臨海自然教室を実施した。

- ・市内28の小学校で実施、参加児童数1,366名

(1校は別事業を実施、1校は隔年実施のため未実施)

2 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア 共同訪問

栃木第四小、国府南小、部屋小、赤津小、小野寺南小、栃木東中、大平中

イ 研究学校

(ア) 市指定人権教育研究学校

・部屋小、藤岡第二中

(イ) 市指定学力向上研究学校

・藤岡小、赤麻小、三鴨小、藤岡第一中

(ウ) 市指定放課後教室研究学校

・栃木中央小、南小、大宮南小、皆川城東小、吹上小、国府南小、大平東小、大平中央小、赤麻小、藤岡小、合戦場小、真名子小

(エ) ICT活用研究モデル校

・栃木中央小、栃木第三小、栃木第四小、大平中央小、栃木東中、栃木西中、栃木南中

(オ) 外国語教育実践研究校

・都賀中、合戦場小、家中小、赤津小

(カ) 姉妹校化推進学校

市内全中学校区

ウ 学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	訪問日	備考
1	栃木中央小	算数(病・虚)	6月12日(木)	特別支援学級新任担当教員訪問
2	栃木中央小	国算理	7月2日(水)	ICT活用研究モデル校
3	栃木中央小	理科	10月14日(火)	教職3年目研修
4	栃木三小	道徳	5月19日(月)	教職3年目研修
5	栃木三小	理科 体育	6月25日(水)	ICT活用研究モデル校
6	栃木四小	図工 総合	6月23日(月)	ICT活用研究モデル校
7	栃木四小	国語	6月30日(月)	特別支援学級新任担当教員訪問
8	栃木四小	各教科等	9月17日(水)	共同訪問
9	栃木五小	国語	6月25日(水)	
10	栃木五小	国語(知・自・情)	10月17日(金)	特別支援学級指導訪問
11	栃木五小	国語	10月22日(水)	
12	栃木五小	道徳	10月31日(金)	下都賀教育事務所要請
13	栃木五小	国語	11月26日(水)	教職3年目研修
14	南小	算数	11月26日(水)	
15	南小	体育	2月19日(木)	教職3年目研修

16	大宮南小	国語・算数	6月26日(木)	
17	大宮南小	道徳	10月8日(水)	教職3年目研修
18	大宮南小	国語・算数	10月23日(木)	
19	大宮北小	生単(自・情)	7月1日(火)	特別支援学級新任担当教員訪問
20	大宮北小	算数	7月2日(水)	
21	大宮北小	算数	10月29日(水)	
22	皆川城東小	算数	9月16日(火)	教職3年目研修
23	皆川城東小	道徳	10月1日(水)	
24	皆川城東小	国語	11月26日(水)	
25	吹上小	国語	7月3日(木)	
26	吹上小	国語	9月24日(水)	
27	千塚小	国語	6月11日(水)	
28	千塚小	国語	9月24日(水)	下都賀教育事務所要請
29	寺尾小	養護	6月27日(金)	教職3年目研修
30	寺尾小	社会	6月30日(月)	
31	寺尾小	算数	11月19日(水)	
32	国府南小	外国語	7月2日(水)	
33	国府南小	算数	7月4日(金)	教職3年目研修
34	国府南小	各教科等	10月23日(木)	共同訪問
35	国府北小	算数	6月16日(月)	教職3年目研修
36	国府北小	算数	6月25日(水)	
37	国府北小	日生(知・自・情)	6月27日(金)	特別支援学級指導訪問
38	国府北小	算数	10月22日(水)	
39	大平東小	校内研修	8月4日(月)	
40	大平東小	国語・算数	10月8日(水)	
41	大平東小	国語・算数	11月5日(水)	
42	大平南小	道徳	6月2日(月)	道徳教育推進研究校
43	大平南小	道徳	10月8日(水)	道徳教育推進研究校
44	大平南小	国・生(知・自・情)	10月24日(金)	特別支援学級指導訪問
45	大平南小	国語	2月24日(火)	教職3年目研修
46	大平西小	国語	6月20日(金)	
47	大平西小	国語	11月28日(金)	下都賀教育事務所要請
48	大平西小	国語	1月28日(水)	
49	大平中央小	国語	5月30日(金)	教職3年目研修
50	大平中央小	国語	5月30日(金)	教職3年目研修
51	大平中央小	国語(知的)	6月19日(木)	特別支援学級新任担当教員訪問
52	大平中央小	自立(言・通)	6月19日(木)	特別支援学級新任担当教員訪問
53	大平中央小	国語	6月20日(金)	I C T活用研究モデル校

54	藤岡小	国語・社会	6月17日(火)	学力向上推進研究校
55	藤岡小	算数・生活単元	9月22日(月)	学力向上推進研究校
56	藤岡小	算数・社会	10月21日(火)	学力向上推進研究校
57	藤岡小	社会	10月24日(金)	教職3年目研修
58	藤岡小	算数・社会	11月25日(火)	学力向上推進研究校
59	藤岡小	算数	1月20日(火)	学力向上推進研究校
60	部屋小	算数	7月2日(水)	人権教育研究校
61	部屋小	各教科等	9月24日(水)	共同訪問
62	部屋小	社会	10月22日(水)	人権教育研究校
63	部屋小	道德	11月26日(水)	人権教育研究校
64	部屋小	学級活動	1月14日(水)	人権教育研究校
65	赤麻小	算数(2コマ)	6月11日(水)	学力向上推進研究校
66	赤麻小	算数・書写	10月6日(月)	学力向上推進研究校
67	赤麻小	保健	10月27日(月)	学力向上推進研究校
68	赤麻小	理科・国語	11月5日(水)	学力向上推進研究校
69	赤麻小	生活単元・学活	1月26日(月)	学力向上推進研究校
70	三鴨小	理科・生活	6月18日(水)	学力向上推進研究校
71	三鴨小	社会・国語	9月10日(水)	学力向上推進研究校
72	三鴨小	算数・学活	10月10日(金)	学力向上推進研究校
73	三鴨小	国語・社会	10月22日(水)	学力向上推進研究校
74	三鴨小	算数・算数	11月12日(水)	学力向上推進研究校
75	三鴨小	国語・書写	1月21日(水)	学力向上推進研究校
76	合戦場小	国語	6月16日(月)	教職3年目研修
77	合戦場小	国語	6月20日(金)	下都賀教育事務所要請
78	合戦場小	外国語活動	10月1日(水)	外国語教育研究推進校
79	合戦場小	外国語活動	11月11日(火)	外国語教育研究推進校
80	家中小	算数(情・通)	6月26日(木)	特別支援学級新任担当教員訪問
81	家中小	外国語活動	7月2日(水)	外国語教育研究推進校
82	家中小	算数	9月10日(水)	教職3年目研修
83	家中小	外国語活動	10月15日(水)	外国語教育研究推進校
84	赤津小	各教科等	5月29日(木)	共同訪問
85	赤津小	外国語活動	6月30日(月)	外国語教育研究推進校
86	赤津小	外国語活動	11月4日(火)	外国語教育研究推進校
87	西方小	生活単元	6月25日(水)	特別支援学級新任担当教員訪問
88	西方小	社会	9月5日(金)	教職3年目研修
89	西方小	国語	10月29日(水)	
90	西方小	国語	11月26日(水)	
91	真名子小	国語	6月25日(水)	

92	真名子小	算数	10月14日(火)	教職3年目研修
93	真名子小	道徳	12月3日(水)	
94	岩舟小	生単(自・情)	6月10日(火)	特別支援学級新任担当教員訪問
95	岩舟小	算数	6月27日(金)	下都賀教育事務所要請
96	岩舟小	算数	9月8日(月)	教職3年目研修
97	岩舟小	社会	9月8日(月)	教職3年目研修
98	静和小	算数	6月27日(金)	
99	静和小	生単(知・自・情)	7月1日(火)	特別支援学級指導訪問
100	静和小	算数	10月31日(金)	下都賀教育事務所要請
101	小野寺南小	各教科等	7月7日(月)	共同訪問
102	小野寺北小	国語	10月29日(水)	
103	小野寺北小	社会(6年)	7月2日(水)	
104	小野寺北小	国語(2年)	11月5日(水)	下都賀教育事務所要請
105	栃木東中	別計画による	6月23日(月)	共同訪問
106	栃木東中	校内研修	9月18日(木)	
107	栃木東中	保体	9月24日(水)	教職3年目研修
108	栃木東中	社会 数学	10月28日(火)	I C T活用研究モデル校
109	栃木西中	数学	9月19日(金)	I C T活用研究モデル校
110	栃木西中	社会	10月16日(木)	教職3年目研修
111	栃木西中	道徳(全学年)	1月21日(水)	
112	栃木南中	理科	7月14日(月)	I C T活用研究モデル校
113	東陽中	道徳	10月1日(水)	
114	東陽中	数学	1月21日(水)	
115	皆川中	養護	7月8日(火)	教職3年目研修
116	皆川中	道徳	10月1日(水)	
117	皆川中	英語	11月26日(水)	
118	吹上中	数学(2コマ)	6月24日(火)	
119	吹上中	社会	6月24日(火)	教職3年目研修
120	吹上中	道徳	9月19日(金)	道徳教育推進研究校
121	吹上中	道徳	11月21日(金)	道徳教育推進研究校
122	寺尾中	理科	7月16日(水)	下都賀教育事務所要請
123	寺尾中	音楽	10月1日(水)	
124	寺尾中	数学	11月26日(水)	
125	大平中	別計画による	9月10日(水)	共同訪問
126	大平南中	技術	6月4日(水)	
127	大平南中	英語	7月11日(金)	下都賀教育事務所要請
128	大平南中	英語	11月11日(火)	教職3年目研修
129	大平南中	保体	12月8日(月)	

130	藤岡一中	数学	6月23日(月)	学力向上推進研究校
131	藤岡一中	英語	6月24日(火)	学力向上推進研究校
132	藤岡一中	理科	7月8日(火)	学力向上推進研究校
133	藤岡一中	音楽	9月5日(金)	学力向上推進研究校
134	藤岡一中	社会	9月8日(月)	学力向上推進研究校
135	藤岡一中	美術	9月8日(月)	学力向上推進研究校
136	藤岡一中	社会	9月9日(火)	学力向上推進研究校
137	藤岡一中	保体	9月11日(木)	学力向上推進研究校
138	藤岡一中	数学	9月17日(水)	学力向上推進研究校
139	藤岡一中	国語	9月18日(木)	学力向上推進研究校
140	藤岡一中	英語	9月18日(木)	学力向上推進研究校
141	藤岡一中	英語	9月24日(水)	学力向上推進研究校
142	藤岡一中	保体	9月25日(木)	教職3年目研修
143	藤岡一中	道德	10月3日(金)	学力向上推進研究校
144	藤岡一中	理科	10月30日(木)	学力向上推進研究校
145	藤岡一中	国語	11月6日(木)	学力向上推進研究校
146	藤岡一中	技術	11月27日(木)	学力向上推進研究校
147	藤岡二中	数学	6月16日(月)	教職3年目研修
148	藤岡二中	道德・特活	7月3日(木)	人権教育研究校
149	藤岡二中	道德・社会	11月17日(月)	人権教育研究校
150	都賀中	道德・学活	5月21日(水)	
151	都賀中	学活	5月21日(水)	教職3年目研修
152	都賀中	作業(知的)	6月17日(火)	特別支援学級新任担当教員訪問
153	都賀中	英語	6月18日(水)	外国語教育研究推進校
154	都賀中	英語	10月1日(水)	外国語教育研究推進校
155	都賀中	道德・学活	11月20日(木)	
156	西方中	国語(知的)	6月17日(火)	特別支援学級指導訪問
157	西方中	国語	9月24日(水)	
158	西方中	数学	10月16日(木)	
159	西方中	音楽	11月5日(水)	教職3年目研修
160	岩舟中	生活単元	7月7日(月)	特別支援学級新任担当教員訪問
161	岩舟中	英語	11月12日(水)	

・学校課題 【別表】学校課題・研究主題等一覧表参照

(2) 教育研究発表会

市内の幼稚園、保育園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で取り組んできた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

・実施日 1月29日(木) 午後2時～

・発表会場 國學院大學栃木学園教育センター(3会場)

- ・口頭発表者 9件（小7件、中1件、高1件）
- ・紙上発表者 3件（小2件、中1件）
- ・参加者 市内幼・保・小・中・高等学校等の教職員等 231人

(3) 人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任を対象に人権教育研修会を開催した。

ア 第1回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 5月20日（火）
- ・場 所 国府公民館
- ・講 話Ⅰ 「栃木県の人権教育推進について」
- ・講 師 下都賀教育事務所学校支援課指導主事 平山 裕美氏
- ・講 話Ⅱ 「人権教育の進め方について」
- ・講 師 栃木市教育委員会学校教育課副主幹兼指導主事 野尻 正人氏
- ・参加者 各小中学校の人権教育主任

イ 第2回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 8月4日（月）
- ・場 所 大平隣保館
- ・講 話 「同和問題の現状と課題」
- ・講 師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞氏
- ・グループ協議 「各校の同和問題への取組の現状」
「講話を聞いた上での、同和問題に関する意見交換」
- ・参加者 各小中学校1名の教職員

(4) 外国語指導助手学校派遣

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手19人を各学校に派遣し、外国語を通したコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日のほぼ毎日訪問した。

延べ訪問日数 (単位：日)

中学校	1,479
小学校	2,213
小中学校合計	3,692

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育研修会

- ・実施回数 4回
- ・対 象 第1回 特別支援教育コーディネーター 43人
- 第2回 特別支援教育コーディネーター 他希望者 45人
- 第3回 特別支援学級担任 通級指導教室担当者 他 53人

第4回 小・中学校特別支援学級担任希望者

4人

- イ 通級指導教室担当者研修会
 - ・実施回数 4回
 - ・対象 通級指導教室担当者 10人
- ウ 学校支援員研修会
 - ・実施回数 4回
 - ・対象 全支援員 70人
- エ 個別指導通級教室指導員研修会
 - ・実施回数 3回
 - ・対象 個別指導通級教室指導員 4人
- オ 特別支援教育新任担当教員訪問 7校
- カ 特別支援学級教室訪問支援 3校
- キ 臨床心理士や学校教育支援専門員による巡回訪問支援等

(6) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務 (単位：冊)

区 分		冊 数
小 学 校	前期用	53,649
	前期転学用	87
	後期用	21,795
	後期転学用	227
中 学 校	前期用	45,434
	前期転学用	49
	後期用	-
	後期転学用	84
合 計		121,325

(7) 教師用教科書及び指導書購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区 分	冊数 (冊)	費用 (円)
教師用教科書 前後期用	462	164,461
教師用指導書 前後期用	27	232,308
合 計	489	396,769

(8) 幼・保・小連絡協議会

- ア 代表者会議 (年2回)
- イ 全体研修会 (講話)
 - ・参加者 幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校教職員 計87人
- ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

区 分	参加者(人)	期間(日)
幼稚園・保育園から小学校へ	28	32
小学校から幼稚園・保育園へ	29	39

エ 地域別研修会（栃木・都賀・西方地域、大平・藤岡地域、各2回）

- ・参加者：第1回73名、第2回71名
- ・年長担当者と小学校低学年担当者の情報交換
- ・アプローチカリキュラム作成とスタートカリキュラムの自校化

(9) 地域ぐるみ児童生徒指導

ア 14中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校地区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

- ・実施期間 6月～2月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換やスクールガードリーダー、人権擁護委員及び保護司との合同研究会を開催

- ・実施期間 4月～3月

ウ 各部会

部会名	実施回数、実施日
小学校部会	5月22日（木）、2月13日（金）
中学校部会	毎月1回
小・中部会	6月24日（火）、10月10日（金）
中・高部会	12月1日（月）

(10) 適応指導教室運営に関する事務

適応指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

- ・適応指導教室通級人数 35人（学校復帰人数26人）

（単位：件）

来所相談	752
電話相談	1,085
学校訪問	130
家庭訪問	273
合 計	2,240

(11) スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを1名配置し、校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア 実施状況

- ・対応件数 100件（うち解決した件数 88件、引き続き対応している件数 12件）
- ・対応の内容の主なもの
 - 経済状況によるもの 27件
 - 虐待に関するもの 24件
 - 不登校によるもの 15件

保健給食担当

1 学校保健管理

(1) 結核健康診断（学校保健安全法施行規則に基づき4月～6月実施）

ア 小中学校

（単位：人）

区分	検診対象者	検診者数	検討対象者数	精密検査不要者	要精検
小学校	8,207	8,177	45	45	-
中学校	4,406	4,343	16	15	1※
合計	12,613	12,520	61	60	1

※有所見者は0名。

イ 教職員（全教職員 胸部レントゲン間接撮影）

（単位：人）

区分	教職員数	受診者	未受診者	未受診者理由	結核有所見者
小学校	742	717	25	妊娠中・妊娠疑い 33	-
中学校	424	412	12	傷病休暇（育休・休職含む） 4	
計	1,166	1,129	37	37	-

(2) 小中学校腎臓検診（4月～6月）

（単位：人）

区分	検査対象者	検査実施者	一次検査	二次検査	三次検査	
			有所見者	要精検者	継続管理者	管理不要者
小学校	8,207	8,202	197	77	102	45
中学校	4,406	4,391	179	66	67	64
合計	12,613	12,593	376	143	169	109

(3) 学校心臓検診（検診5月～6月、4年生のみ9月）

（単位：人）

区分	在籍者数	一次検診		二次検診		
		受診者数	一次有所見者	二次受診者数	要精検者数	省略者数
小学校一年生	1,343	1,343	93 (6.9%)	48	22 (1.6%)	45
中学校一年生	1,467	1,467	142 (9.7%)	87	34 (2.3%)	55
合計	2,810	2,810	235 (8.4%)	135	56 (2.0%)	100
小学校四年生	1,320	1,320	45 (3.4%)			

※（ ）は有所見率

(4) むし歯ゼロ学校事業「学校巡回指導」

- ・実施期間 6月3日（火）～7月4日（金）までの16日間
- ・実施校 市内小学校26校
- ・参加者 小学1年生1,193人
保護者多数（自由参加）
- ・実施内容 児童指導 歯科衛生士による講話、染めだし、歯みがき指導
保護者指導 児童指導の参観、学校歯科医・歯科衛生士による講話

(5) 定期健康診断（生活習慣病検診）

- ・実施時期 8月～10月
- ・対象 学校教職員（県職）

	受診者数（人）	要精検者数（人）	要精検率（％）
小学校	268（50）	56（5）	20.8（10.0）
中学校	175（29）	25（3）	14.2（10.3）
合計	443（79）	81（8）	18.2（10.1）

※（ ）内は胃部X線検査受診者再掲

※血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象

(6) 就学時健康診断

- ・実施時期 9月～10月
- ・対象 平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの児童
- ・被検査者数 1,288人
- ・検査状況（単位：人）

項目		人数	合計
栄養 状態	栄養不良		-
	肥満傾向		1
脊椎異常のある者			2
胸郭異常のある者			2
視力0.7未満			144
眼 疾患	結膜炎		16
	その他		21
耳鼻 咽頭 疾患	中耳炎		-
	扁桃腺肥大		12
	その他		49
皮膚 疾患	伝染性		-
	その他		13
歯	むし歯なし		715
	〃 処置者		221

	〃 未処置者	385
その他歯疾病		19
口腔疾病及び異常		2
その他 疾病及 び異常	ぜんそく	127
	アレルギー	98
	心臓疾患	15
	腎臓疾患	4
	川崎病既往	12
	てんかん	2
	その他	46

(7) 出席停止

学校感染症による出席停止児童生徒

(単位：人)

月 学校	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	161	62	44	15	23	19	107	269	761	345	213	2,019
中学校	76	13	7	3	8	2	14	67	254	115	53	612
合計	237	75	51	18	31	21	121	336	1,015	460	266	2,631

※8月は夏休みのため実績なし

(8) 日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童・生徒数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
栃木中央小	535	33	21	217,903
栃木第三小	393	19	16	75,462
栃木第四小	163	11	6	148,696
栃木第五小	545	36	27	333,356
南 小	271	21	15	66,324
大宮南小	63	2	2	8,504
大宮北小	816	61	42	279,475
皆川城東小	176	7	5	27,885
吹上小	328	19	17	73,092
千塚小	169	23	15	87,026
寺尾小	97	5	5	17,256
国府南小	40	7	7	23,817
国府北小	311	28	19	112,263
大平東小	315	34	17	190,588
大平南小	348	33	24	137,170

大平西小	381	39	27	301,531
大平中央小	682	52	30	413,809
藤岡小	257	32	22	123,868
部屋小	122	5	5	21,238
赤麻小	189	14	7	55,972
三鴨小	185	11	7	41,215
合戦場小	367	15	13	48,724
家中小	186	7	7	39,564
赤津小	139	4	3	17,216
西方小	264	15	12	56,746
真名子小	53	3	2	8,402
岩舟小	473	46	32	241,497
静和小	242	21	11	115,748
小野寺南小	64	14	4	510,673
小野寺北小	25	-	-	-
小学校計	8,199	617	420	3,795,020
栃木東中	303	38	21	311,363
栃木西中	487	129	70	1,035,518
栃木南中	310	56	34	413,255
東陽中	598	120	62	738,765
皆川中	108	13	10	70,396
吹上中	293	46	29	254,813
寺尾中	66	11	7	39,684
大平中	370	97	49	872,783
大平南中	505	154	68	897,697
藤岡第一中	306	66	52	605,604
藤岡第二中	77	43	27	406,100
都賀中	363	71	46	296,825
西方中	191	75	30	324,025
岩舟中	422	162	71	1,495,847
中学校計	4,399	1,081	576	7,762,675
合計	12,598	1,698	996	11,557,695

2 学校環境衛生管理

区 分	検査日	検査項目	備 考
飲料水	5月14日（水）	理化学・細菌検査10項目	水道水、地下水
水質検査	12月2日（火）	理化学・細菌・重金属等 検査51項目	地下水 (地下水使用校)
プール水 放射能検査	5月12日（月）	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム2項目	地下水 (地下水使用校)
プール水水質検査 プール施設調査	6月11日（水）	水質6項目、施設安全管理調査	2点測定
	6月17日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	6月23日（月）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	6月30日（月）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月 8日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月15日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
照度検査	10月～12月	照度測定	
一・二酸化炭素検査	1月～2月	一・二酸化炭素濃度検査	

※ 地下水使用校2校の飲料水水質検査は毎月1回実施

3 学校給食実施状況

(1) 栃木地域

ア 学校給食栄養摂取状況

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミ ン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640	24.0	21.3	350	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	648	25.7	21.4	349	2.9	311.0	0.64	0.60	33.0
中学校栄養摂取目標量	820	30.0	27.3	450	4.0	300.0	0.50	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	789	30.2	24.7	390	4.0	348.0	0.79	0.68	39.0

※ 小学校13校、中学校7校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供 給 学 校			調理従事者(人)		施 設 構 造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	栃木中央小学校 給食共同調理場	栃木中央小	535	22	栄養教諭1	6(1)	鉄筋コンク リート造	405
		南小	271	12				
2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	394	13	栄養職員1	委託	〃	195
		栃木東中	303	12				
3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	163	9	栄養教諭1	4(1)	〃	331
		大宮南小	63	6				

		栃木南中	310	11				
4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	545	19	栄養職員1	委託	〃	349
		栃木西中	490	18				
5	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	819	26	栄養職員1	委託	〃	175
		国府南小	40	6				
6	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	328	13	栄養職員1	委託	〃	155
		吹上中	295	11				
7	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	169	7	栄養職員1	5(3)	〃	310
		皆川城東小	176	7				
		皆川中	109	5				
8	寺尾小学校 給食共同調理場	寺尾小	97	6	栄養職員1	3(1)	〃	252
		寺尾中	66	3				
9	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	311	14	栄養職員1	委託	〃	194
		東陽中	598	20				
計	9調理場	20校	6,082	240	9	18(6)		

※()は臨時職員の内数

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
栃木中央小	568	69	39,380	76	43,600	50	28,922	195	111,902
栃木第三小	414	69	29,135	75	31,795	50	20,843	194	81,773
栃木第四小	183	68	12,013	77	14,022	50	9,401	195	35,436
栃木第五小	573	69	39,739	76	44,399	50	29,389	195	113,527
南小	288	68	19,765	77	22,200	50	14,163	195	56,128
大宮南小	72	69	5,216	77	5,841	50	3,975	196	15,032
大宮北小	854	67	57,689	77	65,923	53	42,645	197	166,257
皆川城東小	188	68	12,990	77	14,653	50	9,647	195	37,290
吹上小	349	69	23,802	77	27,166	50	18,016	196	68,984
千塚小	187	67	12,865	77	14,578	50	9,578	194	37,021
寺尾小	112	67	7,682	76	8,680	50	5,774	193	22,136
国府南小	48	67	3,586	76	3,859	53	2,626	196	10,071
国府北小	331	69	22,789	76	25,148	50	16,494	195	64,431
栃木東中	326	66	21,693	74	24,532	50	15,416	190	61,641
栃木西中	517	67	34,439	75	38,784	50	23,839	192	97,062
栃木南中	332	68	22,329	75	25,080	50	13,142	193	60,551
東陽中	634	68	43,112	75	47,406	50	31,550	193	122,068
皆川中	120	67	8,254	75	9,217	50	5,831	192	23,302
吹上中	317	65	21,338	74	23,682	50	14,886	189	59,906

寺尾中	77	65	5,296	75	6,044	50	3,935	190	15,275
合計	6,490	1,352	443,112	1,517	496,609	1,006	320,072	3,875	1,259,793

(2) 大平地域

ア 学校給食栄養摂取状況

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640	24.0	21.3	350	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	676	26.1	22.5	357	2.9	263.0	0.62	0.59	30.0
中学校栄養摂取目標量	820	30.0	27.3	450	4.0	300.0	0.50	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	828	31.1	25.8	391	3.7	301.0	0.78	0.65	34.0

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況 (5月1日現在)

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	大平学校給食 センター	大平東小	315	12	栄養教諭1 栄養職員1	委託	鉄骨造	1,900
		大平南小	348	12				
		大平西小	381	13				
		大平中央小	682	20				
		大平中	370	12				
		大平南中	505	16				
計	1調理場	6校	2,601	85	2			

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員 (人)	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
大平東小	333	70	23,204	78	25,651	50	16,719	198	65,574
大平南小	368	70	25,856	76	28,021	50	18,386	196	72,263
大平西小	401	70	28,052	77	31,312	50	20,349	197	79,713
大平中央小	712	69	49,119	78	55,107	50	34,846	197	139,072
大平中	397	70	26,412	78	30,556	51	18,364	199	75,332
大平南中	536	70	36,045	78	39,680	51	24,982	199	100,707
センター	25	70	1,831	78	2,134	51	1,347	199	5,312
合計	2,772	489	190,519	543	212,461	353	134,993	1,385	537,973

(3) 藤岡地域

ア 学校給食栄養摂取状況

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640	24.0	21.3	350	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	618	25.2	20.2	357	2.8	239.0	0.59	0.59	31.0
中学校栄養摂取目標量	820	30.0	27.3	450	4.0	300.0	0.50	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	775	31.0	24.0	398	3.6	282.0	0.77	0.68	37.0

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供 給 学 校			調理従事者(人)		施 設 構 造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	藤岡学校給食 センター	藤岡小	257	10	栄養職員1	委託	鉄骨造	961
		部屋小	123	6				
		赤麻小	189	8				
		三鴨小	185	7				
		藤岡第一中	306	11				
		藤岡第二中	78	3				
計	1調理場	6校	1,138	45	1			

※（ ）は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員 (人)	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
藤岡小	274	68	18,852	77	21,139	50	13,652	195	53,643
部屋小	133	68	9,233	76	10,165	52	6,741	196	26,139
赤麻小	201	68	13,682	76	15,307	50	10,007	194	38,996
三鴨小	198	69	13,708	75	14,858	50	10,030	194	38,596
藤岡第一中	326	67	21,321	76	24,764	50	15,182	193	61,267
藤岡第二中	88	68	6,195	75	6,948	50	4,360	193	17,503
センター	15	69	1,072	77	1,192	51	832	197	3,096
合 計	1,235	477	84,063	532	94,373	353	60,804	1,362	239,240

(4) 都賀地域

ア 学校給食栄養摂取状況

今後とも、児童生徒の健康状態を考慮しながら、献立を作成し、対象児童生徒にとって望ましい栄養量の摂取ができるように努めたい。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640.0	24.0	21.3	350.0	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	661.0	26.4	21.0	343.0	2.6	380.0	0.74	0.54	42.0
中学校栄養摂取目標量	820.0	30.0	27.3	450.0	4.0	300.0	0.50	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	837.0	31.9	24.3	368.0	3.2	446.0	0.91	0.61	49.0

※小学校3校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	都賀学校給食 センター	合戦場小	370	15	栄養職員2 (1)	委託	鉄骨造	1,046
		家中小	187	8				
		赤津小	139	7				
		都賀中	363	14				
計	1調理場	4校	1,059	44	2(1)			

※()は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員 (人)	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
合戦場小	391	68	26,601	75	29,273	50	19,767	193	75,641
家中小	201	67	13,699	77	15,475	50	10,153	194	39,327
赤津小	151	69	10,685	75	11,747	50	7,789	194	30,221
都賀中	381	67	24,936	76	29,045	50	17,819	193	71,800
センター	20	69	1,260	77	1,595	51	1,005	197	3,860
合 計	1,144	340	77,181	380	87,135	251	56,533	971	220,849

(5) 西方地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校でエネルギー、脂肪、カルシウムが不足している。これらの点を十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640.0	24.0	21.3	350.0	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	650.0	26.0	21.0	360.0	2.9	274.0	0.62	0.59	35.0
中学校栄養摂取目標量	820.0	30.0	27.3	450.0	4.0	300.0	0.50	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	731.0	31.0	24.0	402.0	3.8	319.0	0.77	0.67	43.0

※小学校2校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	西方小学校給食共同調理場	西方小	264	13	栄養教諭1	委託	鉄骨造	569
		真名子小	53	6				
		西方中	191	7				
計	1調理場	3校	508	26	1			

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
西方小	284	69	20,037	76	22,071	50	14,723	195	56,831
真名子小	62	69	4,761	76	5,136	50	3,500	195	13,397
西方中	206	69	13,758	75	15,537	50	9,685	194	38,980
合計	552	207	38,556	227	42,744	150	27,908	584	109,208

(6) 岩舟地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校で、カルシウムが不足している。

これらの点に十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640.0	24.0	21.3	350.0	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	638.0	26.3	20.0	354.0	2.9	286.0	0.65	0.60	31.0
中学校栄養摂取目標量	820.0	30.0	27.3	450.0	4.0	300.0	0.50	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	790.0	32.0	23.0	393.0	3.6	337.0	0.77	0.68	40.0

※小学校4校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	岩舟小学校給食調理場	岩舟小	473	16	栄養教諭1	委託	鉄骨造	269
2	静和小学校給食調理場	静和小	242	11		委託	〃	205
3	小野寺南小学校給食調理場	小野寺南小	64	6		委託	〃	88
4	小野寺北小学校給食調理場	小野寺北小	25	6		委託	〃	94
5	岩舟中学校給食調理場	岩舟中	422	15		委託	〃	247
計	5調理場	5校	1,226	54	1			

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
岩舟小	497	69	34,481	76	38,065	50	25,042	195	97,588
静和小	258	69	18,311	76	20,086	50	13,114	195	51,511
小野寺南小	74	69	5,494	75	6,152	50	4,070	194	15,716
小野寺北小	33	69	2,794	76	3,168	50	2,096	195	8,058
岩舟中	448	66	29,967	76	34,585	50	21,017	192	85,569
合計	1,310	342	91,047	379	102,056	250	65,339	971	258,442

(7) 共同調理場運営協議会の開催

共同調理場運営協議会

- ・開催日 2月13日(金)
- ・場所 栃木中央小
- ・参加者 委員ほか 22人

(8) 食育研究会の開催

栃木市食育研究会(献立作成会議)

- ・開催日 4月22日(火)、5月13日(火)、7月4日(金)、8月1日(金)、9月16日(火)、10月21日(火)、12月9日(火)、2月16日(月) 計8回
- ・場所 吹上公民館、大平学校給食センター
- ・参加者 栄養教諭・学校栄養職員

(9) 学校給食関係職員研修事業

NO	期 日	事業名	場 所	参加者(人)
1	5月22日(木)	給食主任・栄養教諭等研修会	大平公民館	給食主任ほか 60
2	7月24日(木)	学校給食調理員研修会(衛生講話・調理実習)	大平健康福祉センター	調理員ほか 20
3	8月8日(金)	給食主任・栄養教諭等研修会	大平公民館	給食主任ほか 60
4	1月22日(木)	給食主任・栄養教諭等研修会	〃	給食主任ほか 60
5	3月25日(水)	学校給食調理員研修会(衛生講話)	栃木市役所	調理員ほか 20

【別表】 学校課題・研究主題等一覧

学校名	研究主任名	学校課題・研究主題	教科等	備考
栃木中央小	根岸 昭人	かかわり合いの中で、自ら学ぶ子どもの育成 ～聴き合い、つながり合う学びの工夫～	各教科等	I C T活用研究モデル校 (市指定) 放課後教室研究学校 (市指定)
栃木第三小	須藤 美穂子	自ら考え、学び合う児童の育成 ～I C Tの効果的な活用を通して～	各教科等	I C T活用研究モデル校 (市指定)
栃木第四小	佐々木 裕子	自分の思いや考えを互いに伝え合える子どもの育成 －豊かな思考力・表現力を育む学習指導の在り方－	各教科等	I C T活用研究モデル校 (市指定)
栃木第五小	正田 悦子	自ら学び考え、生き生きと表現し合える児童の育成 ～「活用」の学習活動をとおした読解力の育成を目指して～	国語科	
南小	青木 恭子	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習指導法の研究 ～算数科の授業実践を通して～	算数科	放課後教室研究学校 (市指定)
大宮南小	石川 幸子	生き生きと伝え合うコミュニケーション能力の育成 ～「書く・話し合う・表現する」授業の取組～	各教科等	小規模特認校 (市指定) 放課後教室研究学校 (市指定)
大宮北小	日向野 香澄	確かな学力を育てる算数指導 －学習形態と指導法の工夫－	算数科	
皆川城東小	上田 好重	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中連携の 推進 ～言語活動を通して、共に学び高め合う児童生徒の育成～	道徳 国語科等	放課後教室研究学校 (市指定)
吹上小	谷津 弘美	思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫 ～自分の考えをもち、生き生きと伝え合える 子どもの育成をめざして～	国語科	放課後教室研究学校 (市指定)
千塚小	大岡 裕	言葉の力を高め、自分の思いを表現できる児童の育成 ～ 各教科における言語活動の充実 ～	各教科等	

寺尾小	岩出 岳	学びの基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ児童の育成 ～授業づくりの基礎・基本を見つめなおし、 教育環境を生かしたわかる授業の創造～	各教科等	
国府南小	小倉 友里恵	共にたくましく生きる国府南っ子の育成を目指して ～主体的な学び合いを通して～	各教科等	小規模特認校（市指定） 放課後教室研究学校（市指定）
国府北小	亀田 浩貴	自ら学び、自分の考えを表現できる児童の育成 ～算数科における言語活動の充実を目指して～	算数科	
大平東小	長谷部 小百合	ともに学び、考えを深め、互いに高め合おうとする子どもの 育成 ～言語活動の充実を通して～	国語科 算数科	放課後教室研究学校（市指定）
大平南小	三澤 裕子	豊かな心で、明日をよりよく生きようとする子どもを育む 道徳授業の展開 ～資料の開発と活用の工夫を通して～	道徳	道徳教育推進研究校（市指定）
大平西小	寺崎 光一	共に学び自分の思いや考えを表現できる児童の育成	各教科等	
大平中央小	梅山 好昭	自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業創り ～I C T機器の効果的な活用を通して～	各教科	I C T活用研究モデル校 （市指定） 放課後教室研究学校（市指定）
藤岡小	松本 頼夫	学ぶ意欲を高めるための「わかる授業」づくりと学業指導の 充実	国語科 算数科 社会科	学力向上推進研究校（市指定） 放課後教室研究学校（市指定）
部屋小	吉田 進	認め合い、伝え合うことのできる児童の育成 ～表現力を高める学習指導法の工夫を通して～	各教科等	人権教育研究校（市指定）
赤麻小	阿部 啓子	学ぶ意欲を高めるための分かる授業づくりと学業指導の充 実	各教科等	学力向上推進研究校（市指定） 放課後教室研究学校（市指定）
三嶋小	琴寄 とも子	言葉の力を高め、思いを伝え合える子の育成	国・算 社・理・生	学力向上推進研究校（市指定）
合戦場小	小林 優子	自他のよさを認め合い、生き生きと活動できる児童の育成	国語科	外国語教育推進研究校

		～温かな人間関係づくりとコミュニケーション能力を 高める授業実践を通して～	外国語活動	(市指定) 放課後教室研究学校 (市指定)
家中小	飯島 一重	自ら学び生き生きと活動できる児童の育成 ～人権意識を伴った言語活動の充実による コミュニケーション力の向上をめざして～	外国語活動	外国語教育推進研究校 (市指定)
赤津小	平野 雅郎	「伝え合う力を高める児童の育成」 ～コミュニケーションの楽しさを実感させる 学習活動の工夫～	外国語活動	外国語教育推進研究校 (市指定)
西方小	飯塚 圭子	思考力・判断力・表現力を育成するための学習活動の工夫 ～国語科における文学的な文章を読み取る指導を通して～	国語科	
真名子小	寺崎 由美子	「自分の考えを豊かに表現できる子ども」の育成 － 国語科 (読むことを通して) －	国語科	放課後教室研究学校 (市指定)
岩舟小	阿部 達哉	「意欲的に学習に取り組む児童の育成」 ～学ぶ喜び、学び合う喜びが実感できる 算数科の授業を通して～	算数科	
静和小	佐山 喜代美	数学的な思考力を育てる指導方法の工夫 ～自分の考えを表現することを大切に～	算数科	
小野寺南小	宇野 玲子	自分の考えをもち、分かりやすく伝え合う児童の育成 ～読む力を育てるための授業の工夫 (国語科を中心として)～	国語科	
小野寺北小	樋下田 守	主体的にいきいきと学ぶ子どもの育成 ～自ら学ぶ意欲を高める教材開発と指導方法の工夫～	各教科	
栃木東中	安達 昭一	学び合う力を高める言語活動の工夫	各教科等	I C T活用研究モデル校 (市指定)
栃木西中	古橋 奈美	「基礎基本の徹底と分かって楽しい授業」を目指して	各教科	I C T活用研究モデル校

		～共に学び合う集団づくりとICTの活用を通して～		(市指定)
栃木南中	出井 宏和	楽しくわかりやすい授業展開の工夫 －ICT機器の効果的な活用を通して－	各教科	ICT活用研究モデル校 (市指定)
東陽中	大島 正悟	主体性と協調性をもって、自分の未来を拓く生徒の育成 ～個が伸びる協同学習の在り方を求めて～(3年次)	各教科等	
皆川中	小野 美津子	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中連携の 推進 ～言語活動を通して、共に学び高め合う児童生徒の育成～	各教科等	
吹上中	齊藤 雄輔	互いを認め合い、望ましい人間関係を育てる授業の工夫 ～道徳的価値を伝え合う活動を通して～	道徳	道徳教育推進研究校(市指定)
寺尾中	江田 訓子	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫・改善 ～特別支援教育の視点に立った 学級づくり・授業づくりを通して～	各教科等	発達障害児指導充実事業 協力校(県教委)
大平中	石川 容子	「共に学び、高め合う生徒の育成」 ～言語活動の充実を図って～	各教科	
大平南中	横田 昇	「表現力を高める指導と評価の工夫」 ～聴く力を高め、自分の考えを表現できる 生徒の育成をめざして～	各教科	
藤岡第一中	金井 聡子	学ぶ意欲を高めるための「わかる授業」づくりと学業指導の 充実 ～基礎・基本を定着させるための授業の創造～	各教科	学力向上推進研究校(市指定)
藤岡第二中	田中 範和	自他を尊重し互いに高め合う生徒の育成 ～学びに向かう集団づくり、意欲的に取り組む授業づくり～	各教科等	人権教育研究校(市指定)
都賀中	森田 聡	自信をもって活動できる生徒の育成 ～一人一人が居がいのある学校を目指して～	各教科等	外国語教育推進研究校 (市指定)
西方中	小柳 ひろみ	確かな学力を育む学習指導の工夫・改善	各教科等	

		～コミュニケーション能力の向上を目指して～		
岩舟中	藤野 匡史	学習意欲を高める授業の工夫 ～言語活動を視野に入れて～	各教科等	

*表記につきましては、各学校から報告された文言で示してあります。